

8. 地域の特性を活かした建築物等の規制・誘導

景観デザインの考え方と方策のアイデアを示します。次に、景観計画区域とエリア区分を定め、大規模な建築物等のデザインを規制・誘導するための届出対象や手続き、景観形成基準を示します。さらに、景観法による景観資源の保全や重点地区の指定に関する事項、屋外広告物の景観形成について位置付けます。

8. 地域の特性を活かした建築物等の規制・誘導

8-1. 景観デザインの考え方と景観デザイン方策のアイデア

景観形成の方針（5章）に沿って、建築物・工作物のデザインをしていくための「景観デザインの考え方」と、具体的な「景観デザイン方策のアイデア」の例を示します。

景観形成の方針(再掲)	景観デザインの考え方	景観デザイン方策のアイデア
南知多町において大切な景観、誇れる景観、将来にわたって継承する景観を示したもの	景観形成の方針を実現するためにふさわしい建築物や工作物等のデザインについて示したもの	景観デザインのアイデアを具体的に示したもの
1 海の景観、山の景観を守り育む	(1)海への視点場・眺望点の整備	海への眺め
2 丘陵の緑と調和した景観を守り育む	(2)主要な視点場から見た森林の形質変更を最小限にするデザイン	緑に埋もれる
3 漁業の営みや暮らしを感じる、親しみある漁村景観を守り育む	(3)緑や地形と調和する建物のデザイン	見晴らしの眺望
4 農地と丘陵が織りなす豊かな自然景観と集落が調和した農村景観を形成する	(4)路地のスケールを活かしたデザイン	路地奥の海身近な緑 鍵型の路地
5 のびやかに広がるパノラマ景観を守るとともに、にぎわいある景観を形成する	(5)漁村の生業を見せるデザイン	漁業の営み
6 培われてきた生活文化や風土が生み出す景観を尊重する	(6)豊かな農村風景を阻害しないデザイン	農のぼっかり空いた空間 集落を流れる水路
	(7)のびやかに広がるパノラマ景観を阻害しないデザイン	海のパノラマ
	(8)パノラマ景観を眺める場のデザイン	風采を気持ちよく眺められる場所
	(9)大規模な旅館・ホテルの意匠等に関するデザイン	おもてなしの通り
	(10)地域らしい素材を活用したデザイン	自然な素材(木・石・瓦) 島カラー
	(11)伝統的な意匠を尊重したデザイン	廻船業の面影
	(12)祭りの背景にふさわしいデザイン	祭りの空間

(1) 景観デザインの考え方

(1) 海への視点場・眺望点の整備

半島に位置する本町には、海を見渡すことができる場所がたくさんあることから、そのような場所は眺望を意識してデザインし、また他の人も楽しめるように工夫します。

(2) 主要な視点場から見た森林の形質変更を最小限にするデザイン

地形の起伏を活かし、高低差を活かした建物の配置デザインを考えます。

(3) 緑や地形と調和する建物のデザイン

木々の茂る丘陵などの緑と調和させるため、建築物や工作物の周りには緑を十分に配置します。

(4) 路地のスケールを活かしたデザイン

細く小さな路地のスケールと調和するように、建築物の規模や配置を工夫してデザインします。

(5) 漁村の生業を見せるデザイン

漁港や漁業の営みがある場所では、その活動を屋内に囲い込まず、屋外からも見えるようにデザインします。

(6) 豊かな農村風景を阻害しないデザイン

農業や農村集落の営みの風景と調和するように、ゆったりとした空間の使い方になるようにデザインします。

(7) のびやかに広がるパノラマ景観を阻害しないデザイン

海へのパノラマ景観は大切な共有物であるため、高い建物などで遮ることのないように配慮します。また海を見渡せる場所は、草木の管理を行い、眺望を確保します。

(8) パノラマ景観を眺める場のデザイン

海へ開かれたパノラマ景観を楽しめるよう、「眺めるための場」をつくります。眺めのいい高い場所は海に向かって開口部を設けるなど、空間のデザインにおいてパノラマ景観を意識します。

(9) 大規模な旅館・ホテルの意匠等に関するデザイン

大規模な建築物は、周囲の景観と調和するように配慮します。海岸沿いに建ち並ぶ旅館・民宿は、地域外からの人を迎え入れる「おもてなし」を表現するように、デザインを工夫します。

▶ 大規模な建築物および工作物は、景観法に基づく規制・誘導を行います【8-2を参照】

(10) 地域らしい素材を活用したデザイン

地域の自然環境と調和する木材や石積みなどの素材を取り入れてデザインします。また篠島、日間賀島では、島に特有の開放的な色彩デザインを取り入れてもいいでしょう。

(11) 伝統的な意匠を尊重したデザイン

廻船船主屋敷に代表される伝統的な意匠をモチーフとして取り入れるなど、かつて廻船業で栄えたまちの面影をデザインの中で継承していきます。

(12) 祭りの背景にふさわしいデザイン

町内の各地域において執り行われる伝統的な祭りは、その時期だけの特別な風景であり、背景として祭りを引き立てるようにデザインします。

(2) 景観デザイン方策のアイデア

景観デザイン方策のアイデアを取り入れることにより、南知多町らしい景観づくりをしていきましょう。

景観デザインの考え方(1) 海への視点場・眺望点の整備

アイデア 海への眺め



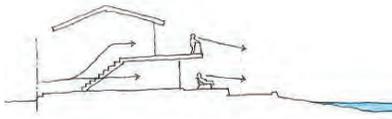
南知多町の景観の特徴

砂浜に沿って続く海への眺めがのびやかに広がり、陸と海が出会う場所のパノラマ景観を眺めることができる。

デザインに取り入れたいポイント

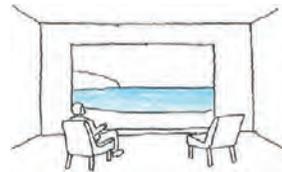
広がりを感じさせる海を意識し、また海への眺望を享受できる場所をつくる。

○海を眺める場所



敷地や建物の、誰もがアクセスできるところに、海を眺められる場所をつくる。眺めを開放する。

○海を意識させる窓



建物の海側には海が見える開口部をつくる。

景観デザインの考え方(2) 主要な視点場から見た森林の形質変更を最小限にするデザイン

アイデア 緑に埋もれる



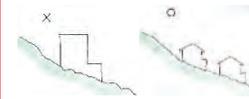
南知多町の景観の特徴

丘陵は常緑種に覆われていることが多く、丘陵のすくそばには集落があり、暮らしが営まれている。

デザインに取り入れたいポイント

自然素材を用いた集落の家屋が背景の緑に溶け込み、一体化している。

○背景と似た、色彩・素材・屋根にする



色彩・素材・屋根の形状を、背景の丘陵に似せることで、背景と一体化させる。

○建物の手前に、背景と同じような緑を置く



建物の手前に、背景と同じような種類の緑を配置し、背景の緑に「埋もれ」させる。

景観デザインの考え方(3) 緑や地形と調和する建物のデザイン

アイデア 見晴らしの眺望



南知多町の景観の特徴

地形の起伏に富んだ地域では眼下に集落や海が広がる。訪問者は地域の全体像が把握でき、地元住民は自分の住むまちを改めて見直すことができる。

デザインに取り入れたいポイント

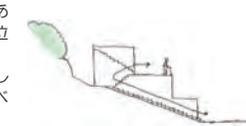
小高いところに、見晴らしを楽しめる場所をつくる。感動を高めるため、簡単にはアプローチできないようにする。

○小高い場所に見晴らすための開口部を設ける



敷地内に高低差がある場合には、高い位置に窓を設ける。屋上には腰を下ろして眺望を楽しめるベンチを置く。

○アプローチを階段にする



屋上や窓までは、階段を設ける(=簡単ではないアプローチ)。足で登ることで感動を高める。

景観デザインの考え方(4) 路地のスケールを活かしたデザイン

アイデア

路地奥の海



南知多町の景観の特徴

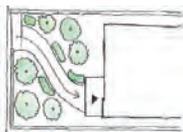
薄暗く狭い路地からは海の全容はまだ見えず、通り抜けて初めて広々とした海が視界に現れる。

路地が海への期待感を募らせ、感動を倍増させる。

デザインに取り入れたいポイント

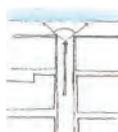
魅力的な建物や眺望などの「視対象」が周辺にある際には、「視対象」までのアプローチを強調することで、期待と感動を高めること。

○アプローチを際立たせる



建物や眺望へのアプローチを狭くしたり、限定したりすることで、視対象への視線を誘導する。

○アプローチを生み出す



壁面位置を揃え、連続させることで、通りを抜けた際の開放感を高める。

アイデア

身近な緑



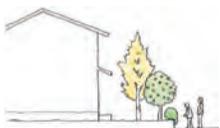
南知多町の景観の特徴

集落の路地を歩くと、手に届く範囲に生垣や植栽の緑がある。

デザインに取り入れたいポイント

建物や歩行路や屋外空間の縁沿いに緑を植える。緑は人々が身近に感じられるように配置する。

○花が咲く木、匂いが届くように



季節により、色や香りが楽しめるようにする。

○生垣でやわらかく隔てる



手の届く近くに植える。通り沿いの生垣など。

アイデア

鍵型の路地



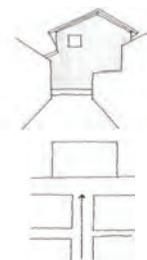
南知多町の景観の特徴

路地などの通り空間が、鍵型に折れ曲がっている風景が見られる。折れ曲がった先になに見えるのか、期待が高まる。

デザインに取り入れたいポイント

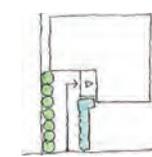
鍵型のアプローチをつくる。視線を受け止める壁面をつくる。

○視線を受け止める壁面



建物の配置をずらすことによって、通り空間の視線が抜けにくいようにする。

○鍵型のアプローチ



建物や目的地へのアプローチは、単純な直線ではなく折り曲げる。

景観デザインの考え方(5) 漁村の生業を見せるデザイン

アイデア

漁業の営み



南知多町の景観の特徴

屋間の漁港には帰漁から出漁までの間、漁船群が係留されている。漁業が風景として溶け込んでいる。

デザインに取り入れたいポイント

生活の身近なところにある生業を、屋外から見えるようにする。

○生業をオープンに見せる



加工に係る工程や漁具、生け簀などをオープンにし、生業を通りから見られるようにする。

景観デザインの考え方(6) 豊かな農村風景を阻害しないデザイン

アイデア 農のぼっかり空いた空間



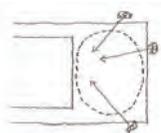
南知多町の景観の特徴

丘陵上にはため池があり、オープンスペースとなっている。

デザインに取り入れたいポイント

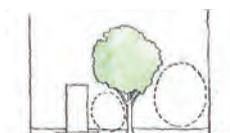
「ぼっかり」とあいた空間越しに、集落の民家や、暮らしの活動が見える。

○建物の手前にオープンスペースを設ける



建物の手前に、広場などのオープンスペースを設け、広場越しに建物や活動が見えるようにする。(特に公共施設)

○何も置かない空間をつくる



敷地のちょっとした空間を、ぼっかりと空いた余白の空間にする。

アイデア 集落を流れる水路



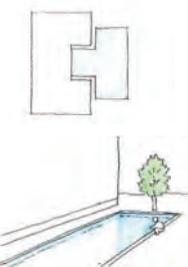
南知多町の景観の特徴

民家のすぐ横に水路があり、年間を通して水が流れている。

デザインに取り入れたいポイント

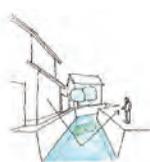
水面には建物や緑が映り込んでいる。

○風景が映り込む水面をつくる



水盤や、小さな池などをつくり、一年を通して水を湛えさせる。

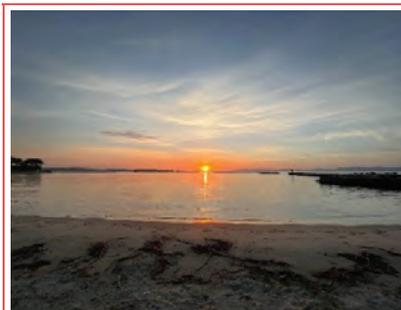
○水面の近くに緑や建物を配置する



緑や建物を、水面のすぐ横に配置して、映り込ませる。

景観デザインの考え方(7) のびやかに広がるパノラマ景観を阻害しないデザイン

アイデア 海のパノラマ



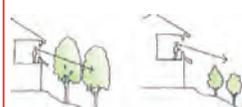
南知多町の景観の特徴

南知多は半島と島というロケーションであるため、海岸では海への視界を遮るものではなく、ダイナミックなパノラマ景観が楽しめる。

デザインに取り入れたいポイント

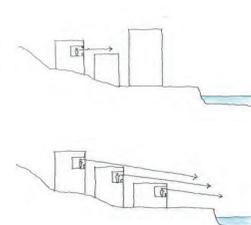
パノラマの感動をより高めるために周辺環境を保ち、また、視界を独占しない。

○パノラマの感動を高める



パノラマの感動を高めるために、眺望を阻害する雑木・雑草等を適正に管理する。

○パノラマ景観を独占しない



高い建物を建てることにより視界を独占しないようにする。

景観デザインの考え方(8) パノラマ景観を眺める場のデザイン

アイデア 風景を気持ちよく眺められる場所



南知多町の景観の特徴

南知多町ではさまざまな海の「見え方」を楽しめる。パノラマもその一つである。

デザインに取り入れたいポイント

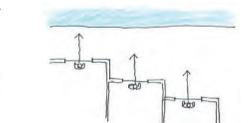
パノラマ景観を見晴らす開口部を設け、居心地をよくする。開口部を大きくし、感動を高める。

○風景を楽しむためのファニチャーを設ける



パノラマ景観が楽しめる方角に開口部を設ける。店舗など人が多く集まる場合はパノラマ景観側に配置する。

○上質な時間を演出する



開口部の面積を大きくすることで、眺望の感動と満足度を高める。

景観デザインの考え方(9) 大規模な旅館・ホテルの意匠等に関するデザイン

アイデア おもてなしの通り



南知多町の景観の特徴

海岸沿いには個性豊かな旅館・民宿が立ち並び、人々を誘うおもてなしの通り景観を形成している。

デザインに取り入れたいポイント

にぎやかな様子が外にあふれ出すよう、1階部分の開口部を大きくする。色彩やファニチャーを用いてハレの日を演出する。

○1階の開口部を大きくする



人々のにぎわいがまちにあふれ出し活気を見せるために、1階部分の開口部を大きくする。

○ファニチャー等を効果的に用いる



暖簾やベンチなどのファニチャーや照明等を用いてハレの日にぎわいを演出する。

景観デザインの考え方(10) 地域らしい素材を活用したデザイン

アイデア 自然な素材(木材)



南知多町の景観の特徴

木材等の自然な素材は、地域の自然景観と馴染んでいる。

デザインに取り入れたいポイント

建物の外壁や敷地の外構周りの塀や門などに木材を用いる。

○外壁等に木を使う



外壁と外構塀に木材を使う。

○木材保護塗装



木材を日光や風雨から守るため表面に塗布する。自然な木材素材を感じさせる色彩にする。

アイデア 自然な素材(石材)



南知多町の景観の特徴

斜面地利用の造成地の擁壁や家屋の土台部に石積みが見られる。

デザインに取り入れたいポイント

石材を用いることで、重厚感や高質感を演出する。

○擁壁を石積みにする



自然石の間地石で目地を揃えた石積みにする。



境内地の石造りの工作物や石積み擁壁を保全する。

アイデア 島カラー



南知多町の景観の特徴

漁師町由来の原色使いを避けた柔らかなパステルカラーの外壁色が、海や空の色と調和している。

デザインに取り入れたいポイント

空や海と調和する、開放的なパステルカラーを用いる。

○開放的なパステルカラー



開放的なパステルカラーを取り入れるときは、単色で用いる。

おすすめのパステルカラーチップ



値はマンセル値の色相を示す。明度値 9、彩度値 6

景観デザインの考え方(11) 伝統的な意匠を尊重したデザイン

アイデア 廻船業の面影



南知多町の景観の特徴

かつて廻船業で栄えたまちの面影が集落の建物に残っている。

デザインに取り入れたいポイント

廻船業の船主屋敷の伝統的な意匠をデザインのモチーフとして取り入れる。

○黒い板塀



屋根のかかった黒い板塀やそれをイメージさせる塀を敷地際にしつらえる。

○鎧張りの外壁



鎧張りの外壁やそれをイメージさせる外壁を取り入れる。

景観デザインの考え方(12) 祭りの背景にふさわしいデザイン

アイデア 祭りの空間



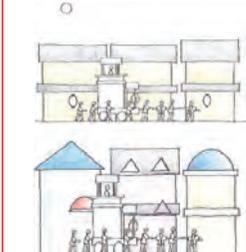
南知多町の景観の特徴

町内の各地区において伝統的な祭りが執り行われ、その時期だけの特別な風景が見られる。

デザインに取り入れたいポイント

神輿や山車など地区ごとの祭りの背景となるハレの風景を演出する。

○神輿や山車を引き立てるデザイン



神輿や山車が練り歩くコースでは祭りの主役を引き立てる目立ちすぎないデザインとする。

○祭りの日の特別な演出



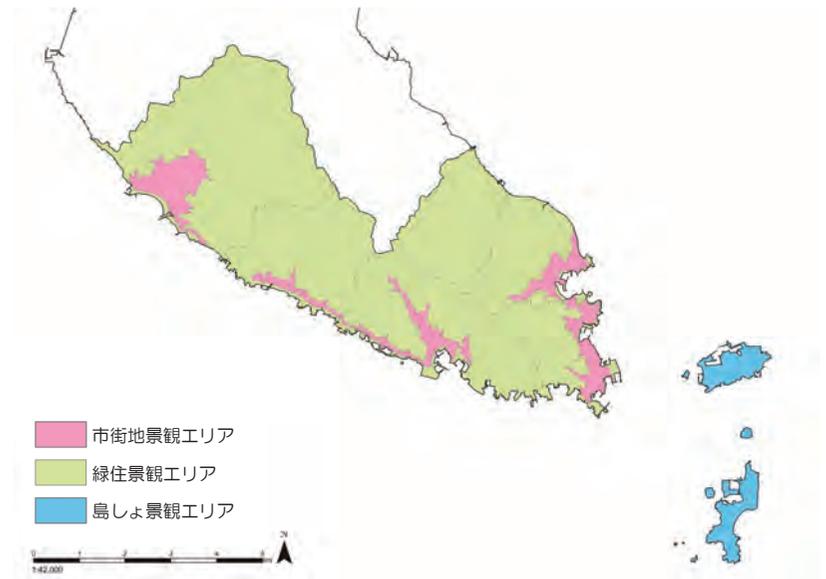
祭りの日には提灯や幟などで演出できるように敷地や建物をしつらえる。

8-2. 行為の制限に関する事項

(1) 景観計画区域及び景観エリア区分

景観法に基づく景観計画区域は、本町の全域とします。
景観の特徴を踏まえ、景観計画区域を、半島部の市街化区域と市街化調整区域、島しょに区分します。

景観エリア区分	主な土地利用	エリアの範囲
市街地景観エリア	港湾、漁港、工業地、商業地、住宅地	市街化区域
緑住景観エリア	自然樹林地、農地、集落地	市街化調整区域
島しょ景観エリア	港湾、漁港、観光商業地、集落地、自然樹林地	篠島、日間賀島



(2) 届出対象行為

景観法に基づく届出対象行為を以下のとおりとします。

なお、建築物及び工作物においては、新築（新設）、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更は届出が必要になります。

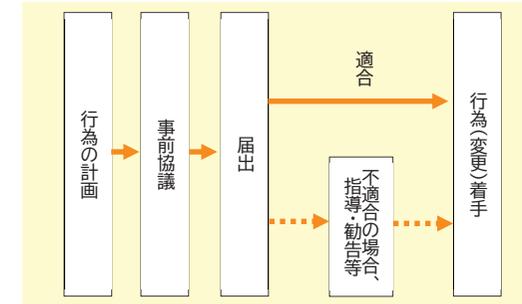
届出対象	届出規模
建築物	景観計画区域一律 ① 高さ3階建て以上、又は ② 建築面積 300㎡を超えるもの
工作物	景観計画区域一律 ① 垣（生垣を除く。）、さく、擁壁その他これらに類するもので、高さ 2.0m を超え、又は道路に面する長さが 10m を超えるもの ② 煙突、ごみ焼却施設、アンテナ、鉄筋コンクリート造りの柱、鉄柱その他これらに類するもの（屋外広告物法（昭和24年法律第189号）第2条第1項に規定する屋外広告物（以下「屋外広告物」という。）及び、記念塔、電波塔、物見塔その他これらに類するもの（屋外広告物に該当するものを除く。）、彫像その他これに類するもの（屋外広告物に該当するものを除く。）、高架水槽、メリーゴーランド、観覧車、飛行塔、コースター、ウォーターシュートその他これらに類する遊戯施設、アスファルトプラント、コンクリートプラント、クラッシャープラントその他これらに類する製造施設、石油、ガス、LPG ^{*22} 、穀物、飼料等を貯蔵する施設その他これらに類する施設で、高さ 10m を超えるもの ③ 汚水又は廃水を処理する施設で、高さ 2.0m を超え、又はその築造面積の合計が 300㎡ を超えるもの ④ 電気供給のための電線路、有線電気通信のための線路又は空中線系（その支持物を含む。）で、高さが 10m を超えるもの
太陽光発電設備	南知多町内における全ての事業 ただし、事業のうち、次に該当するものは除く ① 建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）第 2 条第 1 号に規定する建築物の屋根又は屋上に設置するもの ② 事業区域が、町が指定する道路、公園から見えない位置にあるもの
開発行為	都市計画法第 4 条第 1 2 項に規定する開発行為のうち 1ha を超えるもの

(3) 届出の手続き

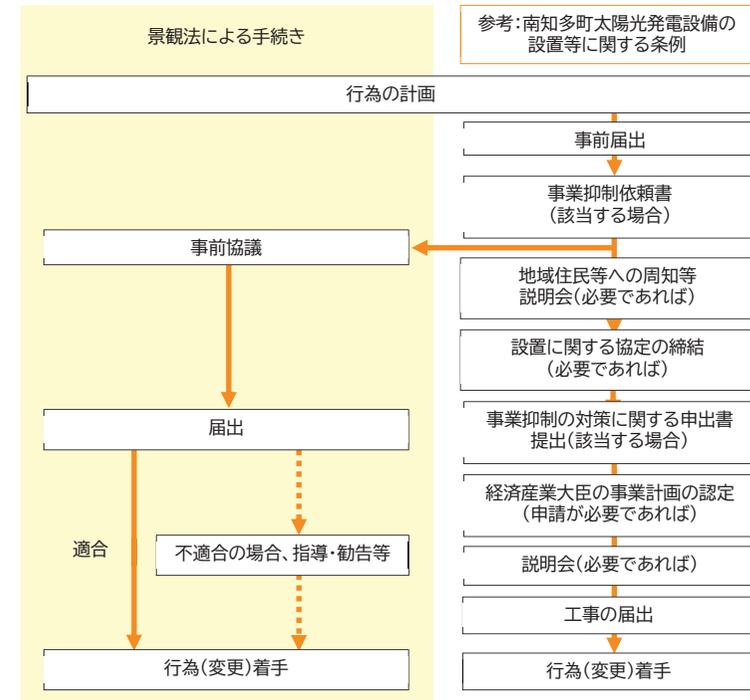
届出対象となる行為を検討している場合は、次の流れで手続きを行います。届出に必要な書類を提出してください。

その中でも、太陽光発電設備の設置を検討している場合は、南知多町太陽光発電設備の設置等に関する条例に基づく事前届出等を経てから、景観法に基づく届出手続きを行います。

届出フロー（太陽光発電設備以外）



届出フロー（太陽光発電設備）



(4) 景観形成基準

1) 建築物

届出対象行為について、以下の基準は必ず守ってください。

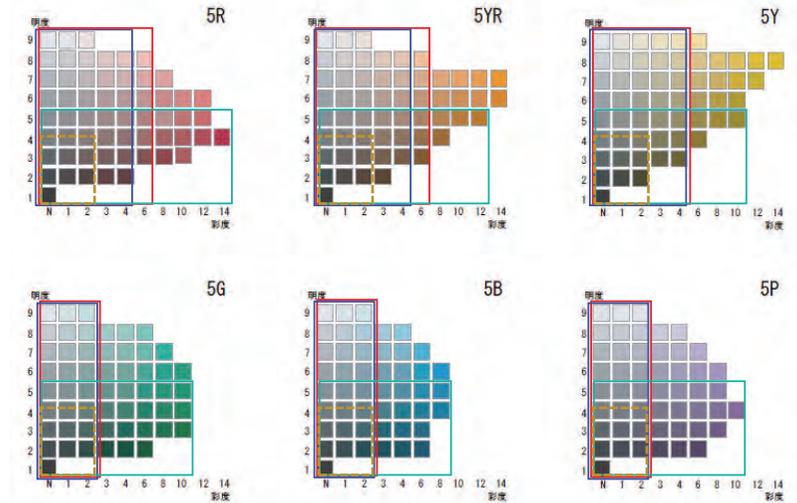
		景観エリア		
		市街地景観エリア	緑住景観エリア	島しょ景観エリア
色彩	壁面	周辺景観と調和し風景になじむ色彩を用いる。 彩度は以下のとおりとする。 ・R(赤)及びYR(橙)の色相は、彩度6以下 ・Y(黄)の色相は、彩度4以下 ・それ以外の色相は、彩度2以下	周辺景観と調和し風景になじむ色彩を用いる。 彩度は以下のとおりとする。 ・R(赤)、YR(橙)及びY(黄)の色相は、彩度4以下 ・上記以外の色相は、彩度2以下	—
	屋根	明度5以下とし、壁面と調和した色彩を用いる。	—	—
素材	壁面	—	自然の素材を取り入れ、周辺の環境と調和させる。	—
	屋根	—	—	—

2) 工作物

届出対象行為について、以下の基準は必ず守ってください。

		景観エリア		
		市街地景観エリア	緑住景観エリア	島しょ景観エリア
色彩	周辺景観と調和し風景になじむ色彩を用いる。 彩度は以下のとおりとする。 ・R(赤)及びYR(橙)の色相は、彩度6以下 ・Y(黄)の色相は、彩度4以下 ・それ以外の色相は、彩度2以下	周辺景観と調和し風景になじむ色彩を用いる。 彩度は以下のとおりとする。 ・R(赤)、YR(橙)及びY(黄)の色相は、彩度4以下 ・上記以外の色相は、彩度2以下	—	—

参考 色彩基準の範囲イメージ



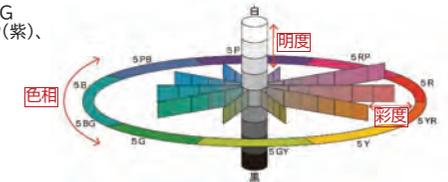
- 建築物の壁面・工作物に使用できる色彩の範囲
- 市街地景観エリア
 - 緑住景観エリア
- 建築物の屋根に使用できる色彩の範囲
- 市街地景観エリア・緑住景観エリア(共通)
- 太陽光発電設備に使用できる色彩の範囲
- 太陽光発電設備

マンセル表色系による色彩表示について

マンセル表色系では、色彩を3つの属性により表します。

例：5 Y R 5/2
色相 明度 彩度

- 色相** 色合いのこと。
R(赤)、YR(黄赤)、Y(黄)、GY(黄緑)、G(緑)、BG(青緑)、B(青)、PB(青紫)、P(紫)、RP(赤紫)の記号により表します。
- 明度** 色の明るさのこと。
0 から 10 の数字で表します。
- 彩度** 色の鮮やかさのこと。
0 から 16 程度までの数字で表します。

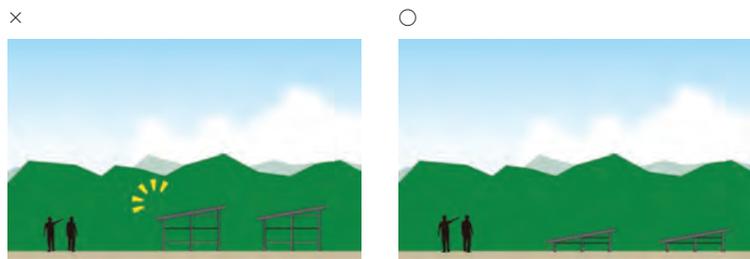


※各色相の代表色を示したものであり、また、印刷によるもので正確な色彩ではないため、実際の色はマンセル¹⁷標準色票等により確認してください。

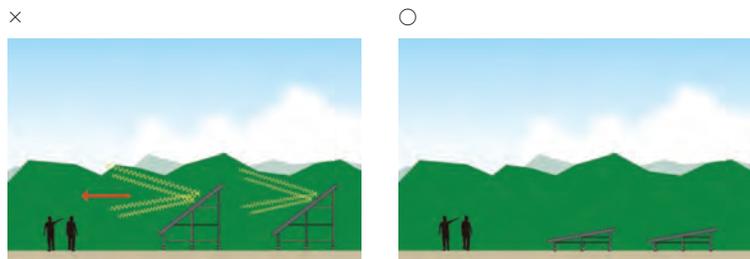
3) 太陽光発電設備

以下の基準は必ず守ってください。すべての景観エリアに共通です。

項目	基準
太陽光発電施設の配置・規模	<p>①土地勾配</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電施設を設置する場合、地盤の土地勾配が30度以下の箇所に設置する。 <p>②自然地形</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業抑制区域では、独立峰の頂部または尾根の連続した稜線の形を、損ねるような配置を避ける。 <p>③無秩序な設置の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽電池モジュール*11は、パネルの向きを一方向にして、整然とした配置となるようにする。 <p>④道路周辺</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路沿道から20mまでの敷地の部分に太陽電池モジュールを設置する場合は、地盤面から太陽電池モジュールの上端までの高さを2m以下とし、道路空間から見た圧迫感を軽減する。 <p>⑤太陽電池モジュールの傾斜角</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽電池モジュールの傾斜角(水平からの角度)は、反射光による周辺集落や公園、道路等への影響を抑制するため、30度以下とする。

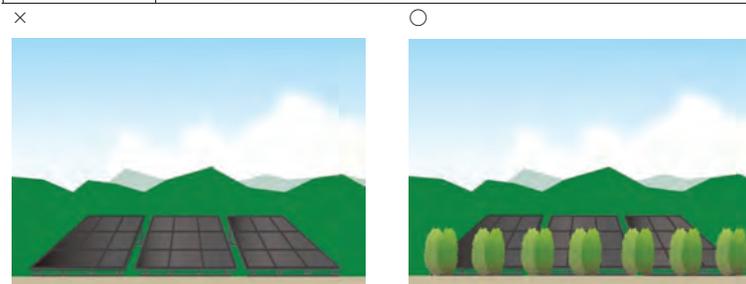


高さは、必要最低限におさえます。



反射を軽減するため、パネルの角度は30度以下とし、できるだけ緩やかにします。

項目	基準
太陽光発電施設の色彩・形態・意匠	<p>①色彩</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽電池モジュールの発電面は、低反射(型板ガラス等)で、模様が目立たないものを使用する。また、文字等の表記はしない。 太陽電池モジュールのフレーム、パワーコンディショナーや分電盤及びフェンス等の付属施設の色彩について、周辺敷地で太陽光発電施設設置事業がある場合は、周辺敷地に設置されている設備と色彩を調和させる。色彩は、明度は3.5以下、彩度は2以下とする(P81参照)。 <p>②形態・意匠</p> <ul style="list-style-type: none"> フレームは付属施設、表示板等は、周辺環境に調和したシンプルな形状・デザインとする。
太陽光発電施設の事業区域の遮蔽と緑化	<ul style="list-style-type: none"> 道路や公園などからの見え方に配慮し、容易に見えないように、敷地周囲の自然環境に調和した植栽や生垣、まちなみに調和した塀、格子やルーバーなどで遮蔽するよう努める。 除草等の維持管理に努め、除草剤・殺虫剤は使用せず、防草シートを用いる場合は低彩度、低明度の、周辺の環境と調和しやすいものとする。 事業区域のうち、道路や公園などの公共空間から視認できる部分に法面が生じる場合は、緑化に努める。 擁壁を設置する場合は、石積擁壁や緑化ブロックとするなど周辺になじみやすい素材を使用する。



太陽電池モジュールは、無秩序な印象を与えないよう、整然とした配置となるよう配慮します。また、敷地内の設備が、道路や公園などから見えにくくなるように、緑化します。

項目	基準
営農型発電施設の配置・規模等	<p>①配置・規模</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園や道路、周辺集落等からの見え方に配慮すること。周辺環境に調和し、また周囲の営農環境に配慮した配置・規模とする。 <p>②高さ</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽電池モジュールの地上からの高さは、おおむね4m以下とすること。 <p>③形態・意匠</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽電池モジュールは、低反射性のものを使用する（型板ガラス等）。 太陽電池モジュールの傾斜角度は、15度以下とする。 <p>④架台・付属施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽電池モジュールのフレーム、パワーコンディショナーや分電盤及びフェンス等の付属施設の色彩について、周辺敷地で太陽光発電施設設置事業がある場合は、周辺敷地に設置されている設備と色彩を調和させる。架台や支柱等の色彩は、低彩度のものであること。

4) 開発行為

届出対象行為について、以下の基準は必ず守ってください。

	景観エリア(共通)
擁壁	<p>造成する場合は、自然の地形をなるべく改変しないようにし、長大な擁壁が生じないようにする。</p> <p>圧迫感を低減するため、擁壁はなるべく緑化する。</p>

大井

まちなみコラム

漁師町に伝わる華麗な祭り

大井の人々は、牛頭天王の依代（オミヨシさん）を大事に祭ってきました。大井ではオミヨシさんの魂を鎮め、慰める祭りが今もなお続いています。祭りでは、三台の提灯車が大井の村社である豊受神社に集結し、提灯の灯りをつけて津島神社へ迎えに行きます。

祭りを偲ばせる空間

大井の集落には提灯車を格納する倉がみられたり、神社には提灯車が集結する広場空間がみられます。これらは地域の信仰を伝える大切な資源です。



8-3. 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針

地域の中には、住民から愛着を持たれている、シンボリックな建築物や樹木があります。樹木は紅葉等により季節を告げ、寺などの建物は生活のなかで目印となり、暮らしに密着した大切な景観資源です。以下の要件に合致するものを指定します。その際は、所有者の同意を得て、都市景観審議会（仮称）の意見を聴きます。

○地域の自然、歴史、文化等からみて、建造物の外観又は樹容が景観上の特徴を有し、景観計画区域内の良好な景観の形成に重要なものであること。

○道路その他の公共の場所から公衆によって容易に望見されるものであること。

○地域のシンボルとして、住民や来訪者に親しまれているものであること。

コラム

アンケート調査から見る、南知多町の景観資源

2022年度に実施した町民アンケート調査で、「地域で守っていききたい景観」について尋ねたところ、建造物では内海のまちなみや寺院・神社が多く挙げられました。今後、景観まちづくりをすすめていくにあたり、多くの住民に親しまれている建造物や樹木といった景観資源を景観重要建造物・景観重要樹木として指定し、保全していくことが考えられます。



歴史的な建物（内海）



神明神社（篠島）



岩屋寺（山海）

コラム

どのような木が「景観重要樹木」になるのか？

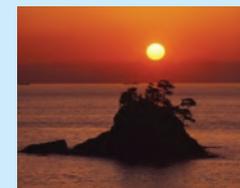
地域の歴史を見守ってきたような大きな木や、街角にあり日々よく目にする木、多くの人があつまる場所にある木など、地域の景観をかたちづくる大切な木を、景観重要樹木にすることができます。

公民館や小学校などの公共空間にある木だけでなく、個人のお宅の庭にある木でも、外の道路から見える木であれば、指定することができます。

また、眺望点など美しい景観スポットからの眺めにおいて、重要な構成要素となっている樹木も、対象となります。

景観重要樹木が地域の中で、健やかに守り育てられていくための支援を、今後考えていきます。

眺望景観上重要な、松島の松▶



8-4. 景観重要公共施設の整備に関する事項

海岸、河川、都市公園、道路などの公共施設は、暮らしに密着した日々目にするものであり、景観の骨格をなすものです。景観法による景観計画では、良好な景観形成に重要な公共施設について、整備に関する事項を定めることができます。

本町の景観形成にとって特に重要な公共施設については、管理者と協議の上、景観法に基づく景観重要公共施設について定めることを検討します。

特に、景観の軸線となっている、県道7号公園線、国道247号については、景観重要公共施設の候補として、関係機関と協議を進めます。

コラム

地域の景観を構成する公共空間の保全

公共施設は、地域の景観の骨格となる基盤施設です。このため、周辺の土地利用や景観と調和した整備や管理が必要です。景観重要公共施設として指定することで整備に関する事項や占用等の許可の基準を定めることができ、良好な景観形成が進めることが可能です。以下に、公共施設の景観形成の例を示します。

道路

- 趣きのあるまちなみに配慮し、電線の地中化を行う。
- 緑豊かで潤いのある道路景観の形成のため、街路樹や植栽帯の整備を行う。
- ガードレールや街灯などを設ける際に、周辺景観と調和するデザインを施す。



ヤシの木が特徴的な県道7号公園線



海沿いを走る国道247号

河川

- 地域景観の骨格として、自然環境に調和した素材を用いた河川整備を行う。

海岸・港湾・漁港

- 観光や地域振興の拠点として、散策路や広場空間などを整備し、親水性を高める。
- 工作物の設置の際は、自然素材を使用する。
- 港湾・漁港の安全性を確保しつつ、自然環境に近い素材を用いた海岸の整備を行う。

公園

- 町民や来訪者の憩いの場として、地域の自然環境と調和する樹木や植栽の整備を行う。
- 見晴らしのよい公園においては、周辺景観を楽しむための広場やピュースポットの整備を行う。

8-5. 屋外広告物の景観形成に関する事項

屋外広告物は、商業などの経済活動に欠かせないものですが、その掲出の仕方に秩序がないと、景観を損ねてしまうものになります。

本町では、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置に関して、県条例の行為の制限に基づいて、適切な運用を行います。

コラム

屋外広告物の景観形成

屋外広告物は、道路等の公共空間に向かって発信するものであるため、まちを構成する大切な景観要素として一定の公共性を有するものです。そのため、行政の立場からは「規制対象」として、掲出場所やその方法・面積等についてもルールを設けて、規制・誘導を図っています。

本町においても幹線道路沿いに野点看板や壁面広告などの屋外広告物がみられます。以下に、屋外広告物の景観形成の例を示します。

幹線道路沿道

- 沿道建物との色や大きさ、設置する位置のバランスに配慮する。
- 山並みを遮らず、自然と調和する色彩を用いる。
- 高さを抑え、沿道のまちなみとバランスをとる。

集落

- 趣のあるまちなみに合わせた素材や意匠を用いる。
- 落ち着いた色彩を用いる。

8-6. 重点地区の指定の方針

2章の景観特性に示したような、歴史的な景観を有するなど、特に景観形成に取り組む地区を景観重点地区として指定します。まずは、重点地区の候補となる地区を検討するための、調査を行います。

重点地区においては、規制・誘導方策などにより積極的な景観形成に取り組むとともに、観光や文化財等の施策との連携を図り、地域の魅力を高めていきます。



内海地区の歴史的な建物の残る通り

内海

まちなみコラム



海辺につながる石積みの黒壁

昔は防虫のために外壁（杉の下見板張り）を焼いていましたが、現存するものは防虫（白蟻）作用があるコーラールで黒く塗られています。表面を硬化させ腐りにくいため、薬剤やペンキなどの塗装よりも長持ちするようです。

基壇部分の石積みは三河地方の幡豆石と思われます。石工などの職人さんも今では減ってきており、残していくことが難しくなりつつあります。



長屋門の趣を残す家屋

大きな農家や昔の船問屋に古い家屋が多く、土間や三和土などが特徴で、周りを塀と門でぐるりと囲む造りとなっています。

海岸に近いところでは、防風（潮風）・防砂のため塀を少し高くして中に庭が造られています。



鎧壁（よろいかべ）

昔の家屋の外壁の板張りは「鎧壁（よろいかべ）」という造りになっています。

かぎ型の金物は、火事になったときの延焼を防ぐためのもので、金物を外すと壁が倒れるようになっています。

柱があるところに金物が設置されていて、1枚の板あたり2箇所くらいしか留めていないため、位置がバラバラになっています。